

■招詞 申命記 32:1-2 「天よ、耳を傾けよ。私は告げよう。地よ、聞け、私の語る言葉を。私の教えは雨のように降り注ぎ／私の言葉は露のように滴る」

■礼拝の祈り

天におられますわたしたちの父なる神よ、

<礼拝の招きへの感謝>

今朝も多くの者を礼拝に招き、あなたの御言葉に心を注ぎ、あなたの御言葉に心を開く時を与えてくださり、感謝いたします。わたしたちが御言葉を聞くことができるようにと、あなたがどんなに心を尽くし、愛を注いでくださっているか、改めて思われます。

あなたはわたしたちひとりひとりの名を呼んで、招き、語りかけてくださいます。けれども、このことはなによりも、こうしてみなが集まる教会のできごとだと信じます。あなたがわたしたちひとりひとりを礼拝で、御言葉によってつくりかえ、教会をも新しくしてください。あなたの恵みによって作られる教会の新しい姿を、豊かに祝福の中においてください。しかし、教会を形作るには、わたしたちたちのまことに弱いものです。知恵がありません。どうか、あなたが良いものを造り出し、わたしたちを御心に適う者として造り直し、あなたのご計画のためにお用いください。病、老い、家族のこと、感染症への対応、忙しさ、また心の迷いなど、様々な事情で礼拝に来ることができない者がいます。自宅で礼拝を守らざるをえない者もおります。あなたが決してそのような人たちを忘れず、憐れんでくださると信じながら、この礼拝をささげます。

<神の御前での罪の告白と悔い改め>

こうして御前に立たされると、わたしたちは、平穏な生活であっても、思い煩いや不安、困難の中にあっても、日々の歩みの中で御言葉を聞くことがいかに少なく、まして、御言葉に立ち、御言葉に根差して自らの歩みを造ることにいかに貧しかったかを改めて思い知らされます。そのために、どれだけ多くの者を愛しそこない、しかもそれを正当化して、自分が正しいと疑わなかったことを思い起こします。こうして御前に立たされた時、わたしたちの傲慢の罪を、あなたが明らかにしてください。しかし、どうかそのようなわたしたちを赦しの光の中に立たせてください。望みを失うこともまた、あなたから離れることですから、罪であることを知ることができますように。

<御言葉が語られ、聞かれるため、聖霊の働きを求めて>

今、もう一度自分のためだけでなく人のためにも祈る心を取り戻させてください。あなたの御前に厳しい思いで立たされる中で、それだけに深く互いに支え合い、赦された喜びの中で、互いに赦し合うことができますように。御言葉によって作られる教会の歩みをあなたが神の民の歩みとし、あなたが強め、導いてください。そのためにどうか、御言葉を与えてください。御言葉によってのみ、わたしたちはあなたを賛美し、教会を造り、生かし、永遠の命へ導く御言葉によって、わたしたちは本当の命を生きることができるからです。

主イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン。

■教会の祈り

<礼拝感謝>

<教会学校の行事を覚えて>

明日、教会学校では夏のおたのしみ会を開きます。子供たちとともに、御言葉に触れ、よい交わりの時となりますようにお導きください。

<信徒修養会を霊で満たしてください>

次週は信徒修養会を行います。みなで聖書の御言葉を聞いて分かち合い、祈りを合わせます。このような教会の御言葉の交わりをお与えくださり感謝いたします。このときを霊で満たし、まことの聖徒の交わりを生んでくださいますように。

<困難の中にある人を救ってください>

心や体の病、老い、不安の中にあるものを救ってください。体のことは自分ではどうすることもできません。弱く脆いのです。医療や介護に感謝しつつも、あなたの救いこそを必要とします。御言葉の癒しを与えてください。また困難の中にある人たちを執り成し祈り、ともに歩む交わりを与えてください。

<祈れる恵みを感謝します>

わたしたちは自分では祈ることができません。しかし、神よあなたが聖霊によって祈りを導いてくださいます。聖霊御自身がうめいてくださるとまでおっしゃる。祈りもまた恵みです。この一週間も祈りの中に歩ませてください。

■祝福

主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、あなたがた一同と共にありますように。アーメン。